

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2006-189810(P2006-189810A)

【公開日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-028

【出願番号】特願2005-351081(P2005-351081)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/30 H

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 3 H

G 0 9 G 3/20 6 2 3 G

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 8 0 S

G 0 9 G 3/20 6 8 0 V

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月21日(2008.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の行を構成する複数のゲート信号線と、

前記複数のゲート信号線の各々と電氣的に接続され、前記複数のゲート信号線の各々に書き込み信号と消去信号とを出力するゲート信号線駆動回路とを有し、

前記ゲート信号線駆動回路は、

クロック信号、スタートパルスに従って、順次サンプリングパルスを出力するシフトレジスタと、

前記サンプリングパルスが入力され、前記サンプリングパルスと、書き込み消去選択信号とに従って、前記書き込み信号と前記消去信号とを生成し、出力する制御回路とを有し

、
前記書き込み信号が生成される前記サンプリングパルスと、前記消去信号が生成される前記サンプリングパルスとは、いずれも同一の前記シフトレジスタから出力されることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

複数の行を構成する複数のゲート信号線と、

前記複数のゲート信号線の各々と電氣的に接続され、前記複数のゲート信号線の各々に書き込み信号と消去信号とを出力するゲート信号線駆動回路とを有し、

前記ゲート信号線駆動回路は、

クロック信号、スタートパルスに従って、順次サンプリングパルスを出力するシフトレジスタと、

前記サンプリングパルスが入力され、前記サンプリングパルスと、書き込み消去選択信号とに従って、前記書き込み信号と前記消去信号とを生成し、出力する制御回路とを有し

、前記書き込み信号が生成される前記サンプリングパルスと、前記消去信号が生成される前記サンプリングパルスとは、いずれも同一の前記シフトレジスタから出力され、

前記複数のゲート信号線の一の行において、

前記制御回路における前記書き込み信号の出力と前記消去信号の出力の切り替えは、

当該行及び当該行より前の行に対応する前記制御回路の出力信号、及び前記書き込み消去選択信号に基づくことを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記制御回路は、複数の R S ラッチを有することを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記スタートパルスは、第 1 のスタートパルスと、第 2 のスタートパルスとを有し、

前記複数の R S ラッチはそれぞれ、前記第 2 のスタートパルスに従って、順次セット動作及びリセット動作を行うことを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一において、

前記ゲート信号線駆動回路は、前記複数のゲート信号線の両側に対向して配置されることを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一に記載の表示装置と、操作スイッチとを具備することを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

